

事務事業評価シート (評価対象年度：令和2年度)

1. 基本的事項【PLAN】

①事務事業名	共済掛金補助事業				②事業番号	3424	
③事業類型	3. 政策推進事業			④開始年度	年度	⑤終了予定年度	年度 ○ 設定なし
⑥根拠法令等	法令	条例	規則	○ 要綱	計画等	その他 法令等の名称: 泉南市中小企業退職金共済掛金補助要綱	
⑦実施手法	○ 直営	全部委託	一部委託	補助・負担	その他		
⑧関連予算科目コード	款	6	項	1	目	4	細目 3
⑨担当部名	⑩担当課名			会計 一般会計			
市民生活環境部	産業観光課						

2. 事務事業の現状把握【DO】

【1】事務事業の目的・事業内容

(1)対象(誰、何に対して事業を行うのか)	対象指標(対象者数を表す指標)	単位
① 市内中小企業者	① 中小企業退職金共済加入企業数	件
②	②	
(2)事業内容(具体的な事務事業の内容、どのような方法で実施しているか)	活動指標(活動の量を表す指標)	単位
中小企業退職金共済掛金の一部を補助する。 毎月の1人当たりの掛金の限度額を5,000円とし、1人～9人の事業所は20%、10人～30人の事業所は、15%、31人～50人の事業所は10%を補助する。	① 共済掛金補給企業数	件
	②	
	③	
(3)意図(対象をどのような状態にしたいか、何をねらっているのか)	成果指標(意図の達成度を表す指標)	単位
掛金の一部を補助することにより、中小企業の経営の安定及び雇用の安定を図り、労働環境を充実させる。	① 共済掛金補給対象人数	人
	① 計算式	
	② 計算式	
	③ 計算式	
(4)結果(対象を意図する状態にすることで、何に結びつくか。上位施策との関連)	総合計画体系上の位置付け	
安心して働ける環境をつくり、労働者の福利厚生を向上させる。	政策(章) 4 おだやかに暮らせる、安全と安心のまち	
その他の体系上の位置付け (4-3-2-3):労働者の権利擁護と労働環境向上への支援	施策大(節) 3 働きたい人が容易に就業でき、活いきと仕事ができるまちをめざします	
	施策中 2 労働環境の充実	
	施策小 2 労働者の福利厚生への向上	

【2】各種指標値、事業費の推移

指標名		単位	H30実績	R1実績	R2実績	R3見込	R4目標	指標値の推移における 特殊要因などの説明
対象指標①	中小企業退職金共済加入企業数	件	15	19	21	—	—	
対象指標②								
活動指標①	共済掛金補給企業数	件	11	14	16	—	—	
活動指標②								企業数は中小企業 退職金共済へ新規 加入から5年以内の 事業所数であり、補 給対象人数と合わせ て随時変化する。
活動指標③								
成果指標①	共済掛金補給対象人数	人	58	104	119	—	—	
成果指標②								事業費などの推移にお ける特殊要因などの説 明
成果指標③								
事業費	投入人員	人	0.29	0.20	0.30	0.30		
	正職員	人	0.00	0.00	0.00	0.00		
	任期付職員	人	0.00	0.00	0.00	0.00		
	臨時職員	人	0.00	0.00	0.00	0.00		
事業費	人件費(投入人員*単価)	千円	2,351	1,542	2,290	2,290		
	直接事業費	千円	491	728	912	500		
	総事業費	千円	2,842	2,270	3,202	2,790		
財源内訳	国庫支出金	千円	0	0	0	0		—
	府支出金	千円	0	0	0	0		
	受益者負担金	千円	0	0	0	0		
	その他特定財源	千円	491	200	0	0		
	一般財源	千円	2,351	2,070	3,202	2,790		

【3】事務事業開始の経緯、状況の変化、評価結果への対応

①この事業を開始したきっかけは何か。	雇用の安定、労働者の福利厚生の上向のために実施。
②開始から現在までこの事務事業を取り巻く状況は、どのように変化したか。また、今後どのように変化していくと考えられるか。	景気の低迷により、失業者の増加等。
③前年度の評価結果を受けて行った改革・改善の取組はあるか。	—

3. 事務事業の評価【CHECK】

〔1〕目的妥当性(必要性)

A.高い B.やや高い C.やや低い D.低い

〔1〕の評価

A

評価項目	評価及び理由・説明等	
①事業サービス内容、質、規模等は市民のニーズや社会環境に合っていますか。 (他団体と比較してどうですか。)	ア. 合っている ア イ. ある程度 ウ. いない	現在の雇用状況に鑑み適当であると思われる。

〔2〕有効性

A.高い B.やや高い C.やや低い D.低い

〔2〕の評価

A

②期待どおりの成果が得られていますか。	ア. 得られている ア イ. ある程度 ウ. いない	経営の安定、雇用の促進、雇用者の保護につながっている。
③今後事務事業を工夫することで成果向上の余地はありませんか。 (事務事業の成果指標をさらに伸ばすことができませんか。)	ア. ある ア イ. ない	市内中小企業者に対し、退職金共済制度および本補助制度の周知を一層図ることで、共済制度への新規加入や補助件数を向上させ、労働環境の改善に結び付けることができる。
④庁内の他部署で、類似の目的を持つ事務事業はありませんか、それらと統廃合や連携を行うことで、より成果を向上できませんか。	ア. 類似なし ア イ. できる ウ. できない	—

〔3〕効率性

A.高い B.やや高い C.やや低い D.低い

〔3〕の評価

A

⑤成果を下げずに事業を工夫してコスト(直接事業費+人件費)を削減する手法はありませんか。 (業務改善、業務の委託化、委託業務内容の見直し、IT化などできませんか。)	ア. ある イ. ない	—
---------------------------------------------------------------------------------------	----------------	---

4. 総合評価

総合評価	評価(A~D)	個別評価の結果を踏まえて課題等を整理	A:現状のまま事業を進めることが適当 B:課題が少しあり事業の一部見直しが必要 (事業の進め方に改善が必要) C:課題が多くあり事業の大幅な見直しが必要 (事業規模、内容、実施主体の見直しが必要) D:事業の統合、休止・廃止の検討が必要
	A	雇用の安定のためには必要である。	

5. 改革、改善案【ACTION】

<今後の方向性>

<div style="border: 1px solid black; width: 40px; height: 40px; margin: 0 auto; background-color: #e0f0ff; display: flex; align-items: center; justify-content: center; font-weight: bold; font-size: 24px;">ア</div>	ア. 現状のまま継続 イ. 見直しのうえで継続 	ウ. 終了 ↓ (___ 年まで)	エ. 休止 ↓ (___ 年から)	オ. 廃止 ↓ (___ 年から)
<div style="border: 1px solid black; width: 40px; height: 40px; margin: 0 auto; background-color: #e0f0ff; display: flex; align-items: center; justify-content: center; font-weight: bold; font-size: 24px;">イ</div>	<今後の展開方針> a. 重点化する(集中的なコスト投入) b. 手段を改善する(実施主体や実施手段を変える) c. 効率化する(コストを下げる) d. 簡素化する(規模を縮小する) e. 統合する(他の事務事業と統合する)			
①改革、改善の具体案、実施年度など		—		
②改革・改善を実現するうえで、解決すべき課題及び考えられるその解決策		中小企業は経済情勢の影響を受けやすく、雇用者を保護し経営の安定を図ることは、労働環境の充実にとって大きな課題である。		